

## 日本心理学会若手の会

JPA Early Career Psychologist Network



# NEWS LETTER

Vol.5 No.1 2020



### CONTENTS

- ・日本心理学会第84回大会若手の会企画のお知らせ
- ・活躍する若手！（町田奈緒士さん・京都大学、下田翔太さん・筑波大学）
- ・新幹事の自己紹介
- ・編集後記

### 日本心理学会第84回大会若手の会企画の お知らせ

#### <学部生・高校生プレゼンバトル>

日時・会場：オンライン開催（大会プログラムをご参照ください）

昨年に引き続き、今大会でも「学部生・高校生プレゼンバトル」を開催します。本企画は、5分間という短い時間ですが、学部生・高校生が大会で発表できる唯一の企画です。今年で4回目を迎える本企画ですが、年々賑わいを見せています。前回は高校生に発表の機会が広がりましたが、今回はグループでの発表も可能となりました。毎年、新たな取り組みを続けている本企画も、たくさんの学部生や高校生の発表があることはもちろんですが、若手の会をはじめ日心全体で若手を盛り上げていこうという協力があってこそ成り立っていると思います。

今年は、20組以上の発表を予定しています。オンライン開催のため、例年行われていたフロアからの投票ではなく、若手の会幹事で審査を行います。みなさまもぜひ大会にご参加の上、ご視聴ならびに発表者へのコメントなどお待ちしております。

ます。未来の若手たちの熱いプレゼンにご期待下さい。

（瀧澤 颯大・前田 駿太）

#### <若手の会企画シンポジウム&進路相談会>

「日本心理学会若手の会企画シンポジウム：若手が聞きたい再現可能性問題の現状とこれから」

日時：2020年9月9日（水）13:00～15:00（大会第2日目）

会場：Web開催（リアルタイム配信）

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大を防ぐべく、心理学の研究者たちは過去の知見の積み重ねから「社会的距離を保つためにどう他者へお願いするか」、「感染者／医療従事者に対する偏見や差別をなくすためにはどうするか」について有益なアドバイスを発信してきています。しかし、その一方で過去の知見の多くが再現されないという報告に端を発し、研究の再現性にまつわる課題とその対策に関する議論が今なお盛んに行われています。そこで、本シンポジウムにおいては、研究の再現性を高めるための手続きを実践している若手心理学者、及び関連領域で活躍する研究者たちをシンポジストとして招きました。今年度の

企画シンポジウムは Web 開催 (Zoom) によるリアルタイム配信で 500 名まで参加可能です。より多くの方々にご参加していただき、活発な意見交換の場となることを期待しております。

(横光 健吾・中川 裕美)

#### 「若手のための進路相談会」

日時：2020年9月9日(水)15:30~17:30 (大会第2日目)

会場：Web 開催 (リアルタイム配信)

第83回大会に引き続き、若手の会から学部生を含めた若手に対する企画として、若手向けの進路相談会を開催します。学部生だけでなく、院生やポスドクも参加できるように、学部生から修士課程、修士課程から博士課程への進学、およびその後の就職も含めたキャリアパスの相談に対応すべく、多様な領域で活躍する大学院生、若手研究者、若手教員が相談に応じます。相談形式は、担当者と参加者が複数名で話し合うグループ相談形式で、大会 HP より先着順で 40 名までご参加いただけます。進学での学費の心配や就職先のこと、就職後の研究など、気軽にお話いただければと思っています。

(宮坂 真紀子)

#### <若手の会懇親会>

日時：①2020年9月9日(水)19:00~21:00

②2020年10月10日(土)19:00~21:00

会場：Zoom 開催

若手の会では、第84回大会のウェブ開催中に Zoom での懇親会を開催します。懇親会の目的は、若手間の親睦を深める事です(大会の内容について話し合う場ではありません)。前回大会での懇親会では、大学院生から若手研究者・教員が参加してくださり、親睦が深められ、研究や進路等の情報交換も行われました。

今年度の親睦会は、若手の会企画のシンポジウムと進路相談会が行われる9月9日と、シンポジ

ウム企画・講演等のウェブ公開が始まる10月10日の両日19時より21時まで Zoom で開催いたします。懇親会への参加申し込み等は期日が近くなりましたら、若手の会のメーリングリストでお送りします。若手の会会員以外の方で参加をご希望の方は、若手の会メールアドレス ([jpa-ecp@psych.or.jp](mailto:jpa-ecp@psych.or.jp)) までお問い合わせください。

オンラインだからこそ、遠方の方も参加しやすいと思われるので、是非ご参加ください！幹事一同、皆様にお会いできるのを楽しみにしています！

(佐藤 徹男)

#### 「活躍する若手！」第6回 町田さん (京都大学大学院) 下田さん (筑波大学大学院)



町田奈緒士  
(まちだなおと)さん  
(京都大学大学院・博士課程後期)

私は、トランスジェンダーを生きるという体験に伴われる実感や身体感覚(質感)を明らかにすることを目的にインタビュー調査を実施しています。ここでは、本研究に至るまでの経緯を振り返りたいと思います。

私が心理学を専攻しようと思ったきっかけは、自分自身のセクシュアリティが、いわゆる多数派といわれる人々と違うように感じたからです。他者から「女の子」と名指される存在であるにもかかわらず、「男の子」の集団に混じりたかったこと、気付いたら女友達を好きになってしまうこと。学校での学習は、最も私にとって実存的な謎を解き明かしてはくれませんでした。ようやくトランス

ジェンダーという概念を知ったのは、大学に入学した後でした。

人の心について学べる心理学なら、自らの体験について考えることができるかもしれない。そう思って心理学を専攻することにしました。しかし、いざ卒論のテーマを決める段になって急に怖くなり、現在のテーマとは異なることを扱いました。その後、心理臨床の世界へ強い憧れを抱き、自身の課題にまずは取り組む必要性を感じ、現指導教員の下、改めてトランスジェンダーの課題に取り組むことになりました。

振り返ると紆余曲折ばかりですが、遠回りをしたからこそ、「私とは何か」という問いとの格闘を通じて普遍的な知の創出を可能にする心理学の魅力を身に沁みて感じられているように思います。みなさまには今後ともお世話になりますが、どうぞよろしくお願ひいたします。



下田翔太(しもだしょうた)さん  
(筑波大学大学院・博士課程後期)

僕の研究では、ラットを対象とした文脈記憶の想起行動とその神経メカニズムの解明を目指しています。文脈記憶は、「なに」が「どこ」に「いつ」あったのかという出来事の記憶(エピソード記憶)に、その事象が生じた環境(空間的文脈)や事象の前後関係(時間的文脈)といった複雑な情報が連合して記録されたものです。この文脈記憶の想起行動を実現するためには、様々な脳部位から記憶された情報を受け取り統合するハブとなる脳部位がありそうだという着想をもとに、化学遺伝学的・光遺伝学的手法を用いた神経活動の操作と想起行動との関係性について検討しています。こういった複雑な記憶から文脈要素のみを分離して解明することで、既存の記憶の研究で文脈と定義されていたものが実は文脈以外の要素から構成されてい

るのかも、といった挑戦的な発見に繋がったらいなと日々思案しています。

現在の研究室には博士の後期課程から移ったので、不慣れな環境での実験計画の立案や装置作製と行動課題の確立など準備でばたばたとあつという間でしたが、新しい環境に身を投じるというのも刺激的で面白いものです。

これから自分の研究成果について、結果の速報性を求めるのか、あるいは更に研究を掘り下げてより大きな主張をするのかといった研究業績の質と量どちらに科学者としての落とし所をつけるのか、未だに模索しています。僕の座右の銘である「耐雪梅花麗」(寒い冬を耐え忍ぶからこそ梅の花は麗しく咲く)という言葉を胸に、まだまだ僕の博士生活の春は遠そうですが、近い将来きっといい報告ができるように日々精進します。

### 新幹事の自己紹介



前澤知輝  
(まえざわともき)  
(北海道大学院・博士課程後期)

新しく若手の会の幹事になりました北海道大学の前澤知輝です。まだ少し緊張していますが、すぐに慣れて幹事としての業務を頑張りたいと思います。心理業界に関わって右も左もわからない人や、情報アクセスに乏しい地方の人などの手助けをしていきたいです。

私は、北大では認知科学を専攻している博士課程の学生です。主に空間的知覚や視聴覚統合の内容に興味を持っています。もともとは水産学部でイルカを対象に卒業研究を書いていた。イルカは聴覚が発達した生物ですが、視覚がどのような役割をもつかはあまり明らかにされていません。ヒトの場合は、視覚の研究は多くありますが、こ

れが聴覚とどのように作用をして、空間的表象をつくり出すのかはまだまだわからないことが多くあると思います。この業界において、まだまだ未熟さを実感しながら研究に向き合う毎日です。

私事ですが、数年前から続けている趣味として写真と登山があります。北海道には大雪山や羊蹄山などの面白いフィールドがたくさんあります。これまで登った一番難易度の高い山は一泊二日のトムラウシ山行で、道に迷いかけたりヒグマを目撃したりと危険はたくさんありますが、高山植物、雲海や絶景といったそこでしかできない体験もたくさんあります。来年の夏には日高幌尻岳と大雪山縦走に行こうと計画を練っています。大雪山を完走するには少なくとも三泊四日は必要なので、プロテインを飲みながら筋肉とともに成長したいと思います。今後ともよろしくお願ひいたします。



上野将玄  
(うへのまさはる)  
(筑波大学)

はじめまして、上野まさはるです。私は実験心理学領域に属し、ラットやマウスといったげっ歯類を用いて、ストレスレジリエンス（ストレスからの回復力）の個体差の研究をしています。

私は「強い人間とはなにか？どのように生まれ、育ち、存在するのか？」というテーマを探究することをライフワークと定めて人生を歩み、博士号を取得しました。これまで「強さとは、個人内要因である」と考え、自身の能力を高めつつ見聞を広めてきましたが、最近それではもう物足りなくなってきました。その成果と能力を、30年後の研究の未来を明るく照らし、後進を支援するために使いたく、このたび若手の会に参画させていただき

ました。レジリエンスの研究者としては、コラボレーションの場に積極的に参加することで、個人と個人の相互作用・相乗効果による社会的なレジリエンス、「個人間要因によって生まれる強さ」を調べたいという欲望もあります。

正直なところ、心理学のメインストリームとは言えない動物実験系ですが、より厳密な条件統制が可能であり、行動変容に関わるミクロな要因を検討できるという強みがあります。動物実験と他分野の心理学をつなぐことで、新たな発見と思考の広がりが得られると確信しており、そのために尽力する心持ちであります。分野としてマイナーということは協働のためのネットワーク構築もまだ十分になされていないということで、数少ない動物実験系の心理学研究者として、異分野協働に努めていきたいです。



岡村靖人  
(おかむらやすと)  
(神戸女学院大学)

新たに日本心理学会若手の会幹事に着任いたしました岡村靖人と申します。現在は、神戸女学院大学人間科学部で授業の補佐や卒業論文にかかわる業務等を通して学部教育のサポートをしています。研究領域は社会心理学で、特にメタファや身体化認知といったことに関心を持っています。2020年3月に博士号を取得したのですが、コロナ禍で学位授与式が中止となりまして、郵送で学位記を受け取るという些かの味気無さを覚えながら、私の長きに渡る学生生活は終焉を迎えました。博士論文を書き終えた今、今後の研究の方向性を模索しながら、自立した研究者、教育者として活躍していけるように精進したいと考えています。



今年は日本心理学会第84回大会を始めとして、多くの学会は軒並みオンライン開催ですね。私は学会開催地で美味しいお店(但しエスニックカレーに限る)を開拓するのが楽しみなので、この状況には悲嘆しています。国内学会はもとより、国際学会でも初めて訪れた土地では必ずエスニックカレーを探し求めてしまうくらいにカレーを愛していますので、ぜひ全国にいらっしゃる会員の皆様から美味しいカレー店の情報をいただけたらと思います。

若手の会のイベントを通して、会員の皆様が研究に関するだけでなく、さまざまな人間的関わりを醸成していけるような雰囲気作りを大切にしたいと考えています。よろしく願いいたします。

### 編集後記

今号は、日本心理学会第84回大会若手の会企画のお知らせ、活躍する若手!、新幹事の自己紹介を掲載させて頂きました。

「学部生・高校生プレゼンバトル」は年々賑わいを見せていて、プレゼンもよりレベルアップされている様に感じられます。若手の会企画のシンポジウムでは、この機会に話を聞きたいと思っていただける様な先生方に、「再現可能性」という若手にとっても重要なトピックに関するご講演をお願いしております。進路相談会も参加人数が増えましたので、効率的に相談ができるように取り組んでおります。大会とは直接的に関係はないのですが、大会期間中に開催される親睦会にも、オンラインという気軽さがあるので、ぜひご参加ください!

今回の「活躍する若手!」では、若手の会が是非皆さんに知って頂きたいと思っている研究分野で活躍する若手の方2名を紹介させて頂きました。興味を持って読んでいただけたのなら、嬉しく思います。

昨年の後半より、新たな幹事3名を迎えました。新しいアイデアと、課題に取り組むエネルギーを持った新幹事ですので、これからの若手の会を更に盛り上げてくれると思います。皆さんよろしく願いいたします。

さて、コロナ禍のため残念ながら通常の大会は開催されませんが、ウェブ開催のため時間や旅費に制約がある若手でも、参加しやすい大会になるかと思っています。また通常であれば、「公聴したいプログラムが二つ同時に行われている! どうしよう!」という事もあります(私だけでしょうか?)。しかし、今大会では多くのプログラムが、ご自身の好きな時に公聴できるようになっていますので、ゆっくりとご参加いただけると思います。それでは、第84回大会ではウェブでお会いしましょう!!!

(佐藤 徹男・岡村 靖人)

発行：若手の会幹事会

〒113-0033 東京都文京区本郷

5-23-13 田村ビル内

公益社団法人日本心理学会事務局

[ips-ecp@psych.or.jp](mailto:ips-ecp@psych.or.jp)

2020年8月11日発行

編集：若手の会幹事会